

## 自由集会 2

1. 開催日時:2022 年 7 月 2 日 19 時 30 分～21 時 30 分

2. 開催方法:オンライン

(URL は、参加当日に配布されます「参加者しおり」の中に記載されております)

3. 題目:高齢者によるボランティア活動のポジティブな側面及びネガティブな側面が与える心身の健康への影響や活動意欲への影響

4. 世話人

松永 博子(東京都健康長寿医療センター研究所)

5. 連絡先

大会事務局(narudoinfo@gmail.com) にお問合せください。世話人から連絡いたします。

6. 内容

少子高齢化・人口減少が急速に進行する我が国において、高齢者は健康や社会経済的側面から最大多数の弱者となり得る。一方で、高齢者は就労やボランティアといった有償・無償の社会貢献活動の担い手としても期待されており、その具体的な手段の一つに世代間交流がある。

しかしながら、この種の継続的な介入研究は極めて少なく、現時点では米国の高齢者による学校ボランティア介入研究 Experience Corps®と、それをモデルに申請者らが 2004 年に開始した絵本の読み聞かせボランティアプロジェクト REPRINTS®などに限られる。REPRINTS®の活動は、保育園や小学校等の子どもの施設を定期的に訪問し対面交流を継続することで、世代間の親愛・信頼感を醸成するものである。また REPRINTS®の最長 10 年に亘る介入では、高齢者の認知・心身機能(Suzuki et al, 2014)、社会的ネットワークの維持向上(藤原他、2006)、子どもの情操教育(藤原他、2007)、保護者の負担感軽減(藤原他、2010)といった長期・互惠的効果が示された(Yasunaga et al, 2016)。

REPRINTS®は各地で普及し、2021 年には全国 14 自治体 500 名の高齢者ボランティアを擁している。また 2014 年には NPO 法人りぷりんと・ネットワークへと移行し、現在も安定した組織体制を構築・維持している。

高齢者のボランティア活動に着目して心身の健康への効果を検討した先行研究は多く、それら多くの縦断研究から、ボランティア活動に参加する高齢者は非参加者に比べて生活満足度や主観的健康感が高いといった報告がなされている。一方で、「気が進まないのにボランティア活動へ参加しても健康維持には寄与しない」(Nonaka et al,2019)など、置かれている条件によって心身の健康や活動意欲へ結果が異なる可能性も示唆されている。そこで今回は、ボランティア活動のポジティブな側面及びネガティブな側面(負担、不安、不満など)が与える心身の健康への影響や活動意欲への影響について議論する。